
YRPへの大学進出について

大学進出経過

経過

- 令和4年9月 中央医療学園から横須賀市へ大学候補地の打診をいただき、複数の大学候補地をご紹介、Y R Pに関心をお持ちいただく。
- 令和5年11月 中央医療学園がY R P及び物件所有者であるN E Cと協議を開始
- 令和6年3月 中央医療学園とN E Cが売買契約を締結

Y R P の概要

1 概要

- 平成9年に、郵政省(現:総務省)、京浜急行電鉄(株)、横須賀市の3者が一体となり開設
- これまで電波・情報通信技術を中心としたICT技術の研究開発拠点として発展
- ここ数年は、工業プラスチック、水素ガス、フィルター、半導体関連など情報通信分野以外の新たな業種も進出
- 異業種間の連携・協業による新たな価値を生み出す場として期待が高まっている

2 取り組み内容

- 令和4年3月に、YRP進出企業や関係者が一体となり、2025年の将来像を定めた「YRPビジョン2025」を策定
- ビジョン内で定めた約60の行動計画に基づき、各機関が連携しYRPの振興・活性化を目指し推進
- この行動計画に「市域を支える人材育成のための大学誘致の推進」を掲げており、今回はその成果の1つ

3 大学へ期待すること

- ビジョンで示す方向性の一つである“共創フィールド”を共に作り上げる一員として、YRP域内だけでなく市域の様々な研究機関や企業などとの連携により、新たな価値の創出や、市の活性化に繋がること
- 将来の横須賀を支えていく若い理系人材をより多く生み出す推進力となること

中央医療技術専門学校の概要（１）

1 所在地

- ・東京都葛飾区立石3-5-12

2 課程、学科、定員

（昼間部）

課 程 名	学 科 名	修業年限	入学定員	総 定 員	備 考
医療専門課程	診療放射線学科	3 年	120 名	360 名	各学年 3 学級
	計		120 名	360 名	

（夜間部）

課 程 名	学 科 名	修業年限	入学定員	総 定 員	備 考
医療専門課程	診療放射線学科	4 年	40 名	160 名	各学年 1 学級
	計		40 名	160 名	

3 沿革

1959（昭和34年） 中央診療エックス線技師養成所（厚生省指定）を開設

1981（昭和56年） 中央医療技術専門学校（文部省指定）に校名変更

これまでに7,700余人の卒業生を輩出

中央医療技術専門学校の概要（２）

4 大学化の背景

- ・医療及び診療放射線機器類は飛躍的な進歩をしており、診療放射線技師も知識及び技術の習得にさらなる向上が求められている。
- ・従来は短期大学もしくは当校のような専門学校の出身者が大多数であったが、診療放射線技師の高学歴化が顕著となり、4年制大学、さらには大学院出身者が大幅に増加する傾向にある。

※診療放射線技師学校数の推移

区分	平成26年	令和6年
4年制大学	13校	36校
専門学校	15校	15校
合計	28校	51校

【横須賀市進出の決定理由】

- 1 教育環境 ： 海や山といった豊かな自然、YRPの静穏な学習環境
- 2 条件面 ： 都心からのアクセスの良さ、既存建物がリニューアル条件に合致
- 3 産官学連携： 将来的にYRPの企業や横須賀市との多様な連携が期待できる

新設大学の概要（１）

1 名称「中央医療大学」（仮称）

2 所在地

横須賀市光の丘 7－1 2

3 学部、学科、定員

学部：（仮称）医療科学学部

学科：開学時は診療放射線学科単科にて開学予定

定員：診療放射線学科 1 学年 定員 1 0 0 名

4 学年総定員 4 0 0 名

※開学後の計画：併設学科として放射線技術学科を開設予定

放射線技術学科 1 学年 定員 4 0 名

4 学年総定員 1 6 0 名

新設大学の概要（２）

4 目指す大学像

- 「深い人類愛、強い探究心」の精神で安心・安全で質の高い放射線医療を提供し、高い倫理観と豊かな人間性を兼ね備えた放射線技師の育成
- 自己成長を目指して主体的に学修を継続することのできる資質の高い医療専門職者の養成

5 スケジュール（予定）

- 令和6年7月～ 学校設置認可申請に係る準備
- 令和7年10月 学校設置認可申請（文部科学省）
※令和7年4月～令和8年3月 建物のリニューアル工事
- 令和8年8月 募集開始
- 令和9年4月 開校

新設大学の概要（３）

中央医療大学完成予想図

